

第 25 章

災害及び事故

第 25 章 災害及び事故

水稲被害

平成 14 年における府内の水稲被害の概況は、被害面積 5350ha、被害量 1450t、被害率 4.7%で、前年に比べ被害面積は 440ha (7.6%)の減少となり、被害量は 21.2%の減少となった。

労働災害

平成 14 年における府内の労働災害による死傷者数は、死者が 95 人、負傷者(休業4日以上)と合わせて1万 456 人で、前年より489 人の減少となった。

産業別にみると、製造業での死傷者が2952 人で全体の 28.2%を占め最も多く、以下、建設業 1976 人(構成比 18.9%)、陸上貨物運送業 1052 人(同 10.1%)の順となっている。最も多い製造業の中では、鉄鋼業・非鉄金属精錬業・金属製品製造業が 1081 人と大きな割合を占めている。

火災

平成 14 年における府内の火災件数は、前年より 120 件減少し 4080 件(前年比 2.9%減)、死傷者は 54 人増加し 845 人(同 6.8%増)となっており、損害額は 5 億 1812 万円減少の 85 億 7052 万円(同 5.7%減)であった。

月別では、4 月の 403 件(構成比 9.9%)が最も多く、次いで 3 月の 377 件(同 9.2%)の順になっている。

地域別では、大阪市地域が 1599 件(構成比 39.2%)で最も多く、次いで北河内地域 521 件(同 12.8%)、泉北地域 461 件(同 11.3%)となった。

発火源別にみると、「たばこ・マッチ」が前年と比べ 62 件増加し

1755 件(前年比 3.7%増)で最も多く全体の 43.0%を占め、次いで、「都市・プロパンガス関係」が 27 件減少し 532 件(前年比 4.8%減、構成比 13.0%)となっている。

また、平成 14 年度末現在の府内の防火対象物数は、前年より 2040 棟増加し 24 万 4839 棟(前年比 0.8%増)となった。

交通事故

平成 14 年における府内の交通事故発生件数は、6 万 3803 件(前年比 0.2%増)、死者 323 人(同 1.2%減)、負傷者 7 万 7299 人(同 0.9%増)となった。

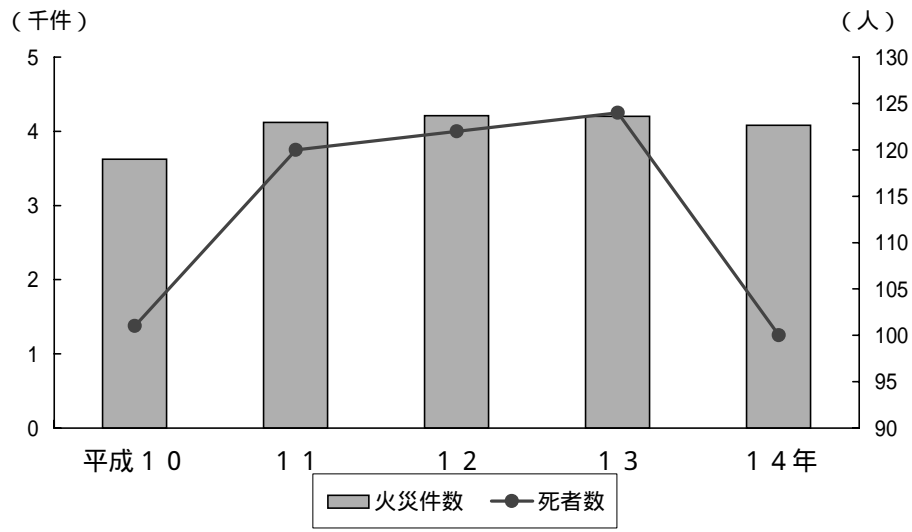
事故発生の主原因者となった第一当事者別では、車両関係 6 万 2203 件、歩行者 130 件、不明 1470 件となっている。

このうち車両関係を車種別にみると、普通乗用車が 3 万 3635 件と 52.7%を占め最も多く、以下、普通貨物自動車 8035 件(構成比 12.6%)、軽乗用車 6167 件(同 9.7%)、軽貨物自動車 5764 件(同 9.0%)、原付(50cc 以下) 4389 件(同 6.9%)の順となっている。また、法令違反別にみると、安全不確認 2 万 8066 件(構成比 44.0%)、前方不注意 1 万 588 件(同 16.6%)、動静不注視 6884 件(同 10.8%)の順となっている。

一方、歩行者関係の事故件数は、第一当事者及び第二当事者合わせて 5216 件で、死者 103 人、負傷者 5307 人となっており、横断中の事故が 3228 件と全体の 61.9%を占めている。

なお、全国の交通事故発生件数は、93 万 6721 件(前年比 1.1%減)でこれを都道府県別にみると、東京都の 8 万 8512 件(構成比 9.4%)が最も多く、以下、神奈川県 6 万 7660 件(同 7.2%)、大阪府 6 万 3803 件(同 6.8%)の順となっている。

火災件数と死者数の推移



交通事故件数と死者数の推移

